

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2025 年 8 月 25 日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	みらい建設工業株式会社
所 在 地	〒108-0014 東京都港区芝 4-6-12
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 石橋 宏樹
担 当 者 連 絡 先	電 話：03-6436-3710 管理本部 梅津博幸
	メー ル：h-umezu@mirai-const.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.mirai-const.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、港湾を中心として海上土木工事、浚渫・埋立工事等の請負事業を実施している企業である。

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	自然エネルギーの活用、低燃費型施工機械・低燃費型連絡車両導入、使用電力削減によるCO2 削減への取組	Scope1.2.(2023 年度比) 42%削減 作業現場再生可能電力利用率 【現状】0% 【目標】100%
✓環境 ✓社会 ✓経済	循環型社会に向けた建設発生材の再資源化への取組	再資源化率 【現状】94.4% 【目標】99%
✓環境 □社会 ✓経済	時間外労働の適正化に向けた働き方改革の取組	作業所閉所率(4 週 8 閉所) 【現状】85% 【目標】95%以上 年間残業時間 【現状】720 時間以下【目標】450 時間以下

(次項へ続く)

（様式第2号）

企業・団体名（ みらい建設工業株式会社 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 （公的な取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	エンゲージメント委員会の開催、社員の考えを伝えやすくするための意見箱(suggestionbox)を設置 社員のエンゲージメント向上のための意識調査の実施				4.1 4.4 4.5 4.7	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	社員へのハラスメント教育の実施 パワーハラスメント・セクシャルハラスメント対応のハラスメント相談窓口を設置し、相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	労働基準法等の改正内容を経営陣を含めて共有し管理体制の整備を実施 働き方改革目標に現場作業所4週8閉所を掲げ、休日出勤および残業時間の削減を実施 電子ツール(タブレット等)活用による作業の省力化、ITC施工による作業の効率化を促進、PCのログイン・ログオフ打刻管理により労働時間を把握し、長時間労働の防止を実施								8.5 8.8									
	4【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	ハラスメント相談窓口の設置とハラスメント教育を実施している コンプライアンス委員会を設置し、社員のコンプライアンス意識調査をおこなう等により差別や人権侵害について確認している グループ全体で、外国人職員のコミュニケーションの機会をつくり、職場環境の情報共有により差別・人権侵害の状況確認、外国人職員のための相談窓口の設置をしている				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	5【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	ISO45001認証取得済 本社にて安全衛生委員会を月1回、各現場においては各支店の安全管理部にて月2回の安全衛生パトロールを実施し、労働環境の整備と労働災害防止の安全教育に取り組んでいる			3	4				8									
	6【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	社内ストレスチェック制度実施要領に従い、社員のストレスへの気付きを促すため、全社員へのストレスチェックを実施し、ストレスチェックの結果をもとに社員が産業医の面談を行えるよう面談時間を確保するなどサポートする対策に取り組んでいる			3														
	7【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	ジェンダー平等と適材適所への取り組み 女性・外国人・障がい者・高齢者の雇用促進と環境整備に取り組んでおり、定年65歳制や女性管理職登用、外国人の採用などに取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	階層別教育の実施やOJT・OFFJTの実施のほかジョブローテーションによるスキルアップの機会を提供している 資格取得に向けての教育体制整備、取得費用の会社負担および補助を行っている				4	5.5			8	9	10							
	9【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	就業規則を整備し、順守している					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康診断の実施、再検査の費用の補助、予防接種の補助を行っている 外部システム利用によるメンタルヘルスチェックおよび産業医への面談を実施し、社員の健康管理に取り組んでいる			3					8									
環境	11【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	建設副産物の発生の抑制、再利用の促進、リサイクルの推進、適正処理の取り組みを行っている											11.6	12.4 12.5		14.1			
	12【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	使用電力量の把握、各現場作業所仮設ハウスの再生可能エネルギー利用促進によるエネルギーの効率化を進めている							7.3						13				
	13【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	低燃費型重機・低燃費型連絡車（ハイブリット車含む）の導入促進および再生可能エネルギーの活用と電力消費の削減の取り組みを行っている							7.2 7.3					12.4	13.3				
	14【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	SDS確認、リスクアセスメントの実施と法令遵守の確認を行っている			3.9			6.3					11.6	12.4					

[illegible]

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	経営目標に『我が社にかかわる多くのステークホルダーに「より高い満足感」を感じてもらえるような』を目標に掲げ、適切な対応をしている 各施工現場においては近隣住民の方々とコミュニケーションをはかり施工内容のについてのご理解をいただいている																16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	品質環境および安全の目標を設定し、リスクと機会の具体策を示し、四半期毎に目標および法令遵守の定期評価を実施し、社内MR委員会にてインプットし、MRにてアウトプットしている																16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	環境方針の中に具体的な活動指針を掲げて取り組んでいる																16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	BCPを立案し、災害などの緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画およびディザスタリカバリ(自然災害または人為的災害後の重要な技術インフラ、システム復旧、あるいは被害を最小限に抑えるための予防措置)を備える									9		11		13			16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	人材の積極的採用と65歳定年制による雇用延長、次世代育成対策として若手社員への教育と技術の伝承を行っている								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
Upcycle（アップサイクル）によるプラスチックごみの削減・Co2削減と発展途上国への医療支援をおこなうエコキャップ活動へ賛同した取組み	エコキャップBOXの設置	1	2											13	14			

【記載留意事項】
・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。）
・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。